

問 早期に公文書管理条例を

自治基本条例で市政情報が、市と市民の共有財産になる以上、その管理に関する事務については、内部規則の訓令でなく条例で規定すべきだが、いかがか。

条例化せず規則にて対応するのは、条例化すると不都合があるのか。

答 他の自治体の動向などを見て検討する

当市の文書管理は、白岡市文書規程にもとづき適切に対応されている。不都合があるということではないが、現時点では条例化は考えていない。しかし、昨今問題とされている国の公文書の取扱い状況などを鑑み、他の自治体の動向なども見ながら検討していく。



黒須大一郎 議員
(隼人)



姫宮落川に架かる水管橋

問 水道料金の値上げは、来年か

水道施設長期更新計画で料金の段階的な値上げを示され、それを含めて経営戦略を練るとのことだが、その方向性はいつか。

緩急合せた戦略による料金改定などで、利用者はもとよりオール白岡でメリットの出る経営戦略と新水道ビジョンの策定を求める。

答 経営戦略の策定とともに検討したい

現実的な施設の建設計画などを盛り込んだ経営戦略の策定を31年度に予定している。料金改定の方角性についても、その中で検討したい。また、需要の拡大を目指すなど戦略的な経営基盤の強化が図られるよう計画を立てていきたい。

問 シルバー人材センターの充実を

屋外での軽作業を行うイメージのあるシルバー人材センターは定年後に働きたいホワイトカラー層の受皿になれていない。パソコン業務などデスクワークや介護・子育て支援にも業務を拡げてはどうか。また受託件数を増やすため研修の充実と積極的PRが必要では。

答 地域に密着した事業展開を目指す

高齢者・子育て世代への支援や企業への派遣、空家管理などの地域に密着した多様な事業展開や、県で実施しているスキルアップのための研修が受けられるよう支援する。また、一定の質を確保した安全・安心なシルバー人材センター事業を積極的にPRしていく。



渡辺聡一郎 議員
(創政会)



ニュータウン学園通り

問 進行する市街地スポンジ化への対策を

新白岡のニュータウンは1980年代に開発され住民が住み始めた。今後は高齢化にともない空き家・空き地が増え一斉に街が老化する危険性がある。初期に整備を始めた所は空き家も目立つ。市街地スポンジ化が急速に進む可能性があるが市は対策を検討しているか。

答 地域コミュニティの活性化を図っていく

道路、公園などの公共施設や緑の多い住環境を良好に維持していく。また、都心から40km圏内という地理的優位性や交通利便性をPRしていく。ジュニア世代のUターンや若者の流入を促し、地域コミュニティの維持、活性化を図っていきたい。